

施策評価シート

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を取り巻く社会環境は、急激な変化を遂げており、市民の学習要求の多様化・高度化に対応し、様々な地域課題や生活課題を解決するために、社会教育の重要性は高まっている。 ・更なる学習の充実を進め、「ひとづくり」を積極的に推進するとともに、地域・学校・行政の連携による推進体制の整備が望まれている。 ・学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動活性化するよう、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められている。
<p>めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)</p>	<p>地域づくり・ひとづくりを積極的に進めるとともに、地域・学校・行政の連携による学習活動が活発になるような、学習機会の場の充実と心の豊かさや生きる力を育む幅広い連携を目指す。</p>

		指標名称	指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	
施策指標	①	開かれた学校づくり講座参加者	講座参加者(人)		8,726	8,800	
	②	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	山開き参加者(人)		280	300	
	③	多留姫文学自然の里・里まつりへの参加者数	里まつり(人)		150	200	
施策の柱1	名称	学校を中心とした家庭・地域との連携・充実			主管課	生涯学習課	
	詳細	社会をたくましく生き抜く基礎学力を培い、生きる力(自己教育力)の育成に努め、学校と家庭・地域と連携・協働しながら、学校や家庭を含めた地域全体による教育の実現を図る。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	学校開放講座参加者数	講座参加者数(人)	1,544		1 生涯学習講座関連事業	実施
					1,600	2 こども読書活動応援センター事業	実施
	2	開かれた学校づくり講座参加者数	講座参加者数(人)	8,726		3 読りむinちの活動支援事業	実施
					8,800	4 コミュニティスクール促進事業	実施
	3					5	実施
						6	
	基本政策間連携						
施策の体系	名称	公民協働事業の充実			主管課	生涯学習課	
	詳細	公民協働のパートナーシップの手法により青少年の学習、社会活動への参加を促進するため、必要な学習機会の充実を図り、青少年学習と体験学習の推進を目指す。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	山開き参加者数(人)	280		1 小泉山体験の森整備活用事業	実施
					300	2 多留姫文学自然の里整備活用事業	実施
	2	多留姫文学自然の里 里まつりへの参加者数	里まつり参加者数(人)	150		3 団体負担金・団体補助金事務	実施
					200	4 共催・後援事業O予算	実施
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						
施策の柱3	名称	人権教育の推進			主管課	生涯学習課	
	詳細	基本的人権が保障され、国籍、性別、高齢者、障害者、子どものいじめなど、あらゆる偏見や差別を許さない相互理解に立った人間性豊かな社会を目指す。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	茅野市人権教育研修会参加者数	参加者数(人)	104		1 生涯学習講座関連事業	実施
					120	2	
	2					3	
						4	
	3					5	
						6	
	基本政策間連携						

施策評価シート

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	施策の柱 4	名称	成人式事業の推進			主管課	生涯学習課		
		詳細	新成人が社会人として、豊かな心と広い視野を持っていただくとともに、成人になることで生じる権利と義務、責任を自覚できるような式典を目指す。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	成人式への参加率	参加者数/対象者数×100(%)	68.30		1	成人式開催事業	実施
						80.00	2		
		2					3		
							4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							
	施策の柱 5	名称				主管課			
		詳細							
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1					1		
							2		
		2					3		
							4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							
施策の柱 6	名称				主管課				
	詳細								
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1					1			
						2			
	2					3			
						4			
	3					5			
						6			
	基本政策間連携								
施策の柱 7	名称				主管課				
	詳細								
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1					1			
						2			
	2					3			
						4			
	3					5			
						6			
	基本政策間連携								

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		開かれた学校づくり講座参加者	8,726	10,472	12,441	4,211	3,011	2,740	3,569
1			8,800	119.00	141.38	47.85	34.22	31.14	40.56
変動要因等	2018年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。							
	2019年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症も落ち着き、多くの講座が開催できた。							
施策		小泉山体験の森 山開きへの参加者数	280	300	327	-	393	476	300
2			300	100.00	109.00	-	131.00	158.67	100.00
変動要因等	2018年度	地域の小中学校の児童生徒の参加者が多く参加した。							
	2019年度	学校への周知により、親子参加や年配の方の参加も多くみられた。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止し、山開月間とした。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止し、山開月間とした。							
	2023年度	山開月間から1日のイベントに戻したため、昨年より参加者数が減った。							
施策		多留姫文学自然の里・里まつりへの参加者数	150	141	123	-	-	-	100
3			200	70.50	61.50	-	-	-	50.00
変動要因等	2018年度	他の地区行事が少なく、親子参加が多かった。							
	2019年度	米作りのスタンプラリーを試みたが、学校行事と重なってしまい実績が伸びなかった。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2023年度	学校行事と重なり参加者数が伸びなかった。							
柱1		学校開放講座参加者数	1,544	1,727	958	281	90	59	237
1			1,600	107.94	59.88	17.56	5.63	3.69	14.81
変動要因等	2018年度	子どもたちの興味関心をもつ、講座内容が参加者の増加に繋がっている。							
	2019年度	教職員の負担軽減の観点から縮小傾向である。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2023年度	3講座が天候等により中止となったが、多くの講座が開催できた。							
柱1		開かれた学校づくり講座参加者	8,726	10,472	12,441	4,211	3,011	2,740	3,569
2			8,800	119.00	141.38	47.85	34.22	31.14	40.56
変動要因等	2018年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。							
	2019年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が中止となった。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症も落ち着き、多くの講座が開催できた。							
柱2		小泉山体験の森 山開きへの参加者数	280	300	327	-	393	476	300
1			300	100.00	109.00	-	131.00	158.67	100.00
変動要因等	2018年度	地域の小中学校の児童生徒の参加者が多く参加した。							
	2019年度	学校への周知により、親子参加や年配の方の参加も多くみられた。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止し、山開月間とした。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、山開きは中止し、山開月間とした。							
	2023年度	山開月間から1日のイベントに戻したため、昨年より参加者数が減った。							

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)						
	柱2	多留姫文学自然の里・里まつりへの参加者数	150	141	123	-	-	-	100
	2		200	70.50	61.50	-	-	-	50.00
変動要因等	2018年度	他の地区行事が少なく、親子参加が多かった							
	2019年度	米作りのスタンプラリーを試みたが、学校行事と重なってしまい実績が伸びなかった。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、里まつりは中止となった。							
	2023年度	学校行事と重なり参加者数が伸びなかった。							
	柱3	茅野市人権教育研修会参加者数	104	120	104	-	174	80	63
	1		120	100.00	86.67	-	145.00	66.67	52.50
変動要因等	2018年度	講演内容「性同一障がいの現状と課題」に多くの方に興味関心を持ってもらった							
	2019年度	研修会の講演は満蒙開拓団の話であり、面白い切り口であったが、実績数値が伸びなかった。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、人権教育研修会は中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、参集は定員50名に限定、ライブ配信及びアーカイブ配信を併用したことにより参加者数が増えた。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が少なかった。							
	2023年度	外国人の抱える課題等について、講演をしたが、参加者数が伸びなかった。							
	柱3	成人式への参加率	68	60	60	-	61	61	63
	2		80	75.00	75.00	-	75.68	75.79	20.97
変動要因等	2018年度	対象者の内、茅野市出身でなく、出席しない者(転入者等)も一定数あることから数字として表れてくる参加率は伸び悩み傾向にある。							
	2019年度	対象者の内、茅野市出身でなく、出席しない者(転入者等)も一定数あることから数字として表れてくる参加率は伸び悩み傾向にある。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月成人式は延期となり、延期後の令和3年5月成人式は中止となった。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2会場に分けて開催、コロナ過にもかかわらず平年並みの参加率となった。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い実施、コロナ過にもかかわらず平年並みの参加率となった。							
	2023年度	平年並みの参加率となった。							

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進				体系番号	0201020106	
					主管課	生涯学習課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項 目			2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
評価	投資額	事業費(円)	11,471,629		11,842,860	1.03	9,753,117	0.82	12,862,618	1.32	12,605,873	0.98	11,787,771	0.94
		うち一財(円)	11,471,629		11,842,860	1.03	9,753,117	0.82	12,861,218	1.32	11,572,793	0.90	11,758,291	1.02
		(2018年～2023年(総括)については2023年の実績を記載)					小泉山体験の森整備活用事業における元気づくり支援金の皆減、生涯学習講座関連事業における講師謝礼の減等による。		小泉山体験の森豪雨災害による修繕費、コロナで昨年中止した成人式、講座等の実施による増、まちづくり推進事業補助件数の増による。					
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
	総合評価	主な取組内容や成果	生涯学習講座関連費の講座について、外部講師の知識や経験が学校教育への有効な効果をもたらしている。また、小泉山体験の森の看板リニューアル整備は、薄れがちであった地域の親子の関わりを復活する効果がある。		生涯学習講座関連費の講座については、コミュニティスクール構想と合致し、学校を中心として家庭や地域とのつながりを深めている。		新型コロナウイルス感染症の影響により、年度前半は中止した事業が多かった。後半はできる事業から再開したが、感染の再拡大により、成人式や人権教育研修会など中止せざるを得ない事業もあった。		新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあるが、成人式や小泉山体験など感染対策や工夫することにより事業の実施ができた。		(R4・総括評価共通)新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業もあるが、成人式や小泉山体験など感染対策を工夫し、実施できた。5年間のうち、約3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が思うようにできなかったが、工夫して実施できたことを取り入れながら市民団体の活動に活かすことができた。		生涯学習講座関連の講座では、外部講師により、児童・先生への教育を進めることができた。また5年間のうち、約3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が思うようにできなかったが、工夫して実施できたことを取り入れながら市民団体の活動に活かすことができた。	
課題		生涯学習関連費の講座について、魅力ある講座内容を取り込む必要がある。公民協働の事業について、地区の役員と兼務である負担感や役員の高齢化が課題となる。		公民協働事業における市民の主体性を促す事務局の関わり方や事業内容が本来の目的に合致しているか、また、疲弊しないよう会員の負担軽減も考えていく必要がある。		新型コロナウイルス感染症は、地域づくり・ひとづくりに不可欠な集まって学習する機会を奪ってしまった。自然体験を通した学習などオンラインでは開催が難しい事業もある。		新型コロナウイルス感染症は、地域づくり・ひとづくりに不可欠な集まって学習する機会を奪ってしまった。感染レベルが高いと実施が難しい、また自然体験を通した学習などオンラインでは開催が難しい事業もある。		(R4・総括評価共通)新型コロナウイルス感染症は、地域づくり・ひとづくりに不可欠な集まって学習する機会を奪ってしまった。自然体験などオンラインでは開催が難しい事業もある。新型コロナウイルス感染症により、内容を工夫し、実施した事業もあるため、今までの進め方も含めて検討が必要。		生涯学習関連の講座について、学校開放講座は先生の負担が大きい。また市民団体の高齢に伴う活動の維持と市が事務局としてどうかかわるかが課題。		
改革・改善	改革・改善内容		生涯学習講座関連費のうちコミュニティスクールや教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくりを充実する。小泉山体験の森の看板リニューアル整備事業において地域の親子参加を促す。		公民協働事業における市民の主体性を促すため、役員やメンバーと情報共有を密に行い、事業内容が本来の目的に合致しているかやメンバーやステークホルダーの負担になっていることはないかなど常に意識する習慣をつける。		コロナ下にあっても、密にならずにできる方法を考えたり、感染対策を強化したうえで実施することを検討するなど、市民の学習機会を減らさないようにする。		コロナ下にあっても、密にならずにできる方法を考えたり、感染対策を強化したうえで実施することを検討するなど、市民の学習機会を減らさないようにする。		コロナ下で工夫しながら進めてきた事業の良かったところを取り入れながら、今後の事業を進め、市民の学習機会を減らさないようにする。		生涯学習講座関連の講座の先生への負担の軽減、また市民団体の活動の見直しや事務局としてのかわかり方を検討する。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2		2		2		2		2		2	
		重点事業	1		1		1		1		1		1	
		理 由	公民協働のパートナーシップのまちづくり事業の推進は、地域の生涯学習の場の提供や地域コミュニティの向上が図られる。		小泉山体験の森整備活用事業は、小泉山を取り囲む地区と近隣保育園、小学校、大学等の教育機関とも連携し、多くの人が関わり里山活用を行う先進事例である。		小泉山体験の森整備活用事業は、小泉山を取り囲む地区と近隣保育園、小学校、大学等の教育機関とも連携し、多くの人が関わり里山活用を行う先進事例である。		小泉山体験の森整備活用事業は、小泉山を取り囲む地区と近隣保育園、小学校、大学等の教育機関とも連携し、多くの人が関わり里山活用を行う先進事例である。		小泉山体験の森整備活用事業は、小泉山を取り囲む地区と近隣保育園、小学校、大学等の教育機関とも連携し、多くの人が関わり里山活用を行う先進事例である。		公民協働のパートナーシップのまちづくり事業の推進について、市民団体の持続可能な取り組み、また事務局のかわかり方を検討する。	

作成担当者	伊藤 研一	河西 茂廣	河西 茂廣	武居 直樹	武居 直樹	武居 直樹
最終評価責任者	平出 信次	北沢 政英	北沢 政英	北沢 政英	上田 佳秋	上田 佳秋
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月18日	2024年7月11日